

協定校留学報告書

記入日	6月1日
学部・学科	教育学部教育学研究科教育実践高度化専攻教育方法開発コース
学年	2年
(留学開始時の学年)	2年
留学先大学・国名	University of Wisconsin Superior ・ アメリカ
留学開始・終了時期	2022年 9月 ～ 2023年 5月 (10ヵ月)

1. 留学前について

① 海外留学しようと思った理由は何ですか
<p>一つ目の理由は、語学力を向上させたいからである。将来どのような進路に進むか決めかねていた時、英語力があれば自分の選択肢が広がると考えた。二つ目の理由は、日本とは異なる文化に触れたいと考えたからである。多くの人の考え方に触れることで、多様な人と分かり合う力をつけたいと考えた。</p>
② この協定校に決めた理由を教えてください。
<p>まず、協定校がアメリカにあるからである。アメリカの大学では、多くの国から留学生が来るため、英語を学びながらより多くの文化や考え方に触れることができると考えた。また、私が留学した協定校は少人数制の授業を特徴としているため、きめ細やかな指導を受けることができると考えた。</p>
③ TOEFL の受験対策など、語学の準備はどのようにしましたか。
<p>TOEFL の受験対策には、駿台が発行している『TOEFL ITP テスト完全制覇』を使った。この問題集は CD ではなく MP3 をダウンロードすることでリスニング問題を解くことができるため、スマホやパソコンがあれば場所を選ばず勉強ができる。語学の準備については、先述の問題集に加えて英語のニュースを字幕なしで見る、日常的に日本語を英語に変換してみるなど、英語に触れる機会を増やすようにしていた。</p>
④ 単位や教職、就職活動等に関して、留学前にしておいたほうがいいことがあれば教えてください。
<p>単位や教職に関しては、指導教官と打ち合わせをして渡航前に取得する単位、帰国後に行う実習などの予定は大まかに決めておく。特に実習は実習先の学校との調整もあるので早めに相談をすることが必要。就職活動に関しては、渡航前から業界や自分の進みたい進路について考えておくことが必要。渡航する時期にもよるが、就職活動は渡航する前にインターンや説明会に参加して自分が入ろうとしている会社や業界に関する知識を得ておくことで後に余裕ができる。留学中は基本オンラインでの説明会やインターンにしか参加できなくなり、日本とは長期休みの時期や活動時間がずれるので留学先での授業の片手間に就職活動を進めなければならない。そのため、大学 3 年生の夏(院なら 1 年の夏)には就職活動を始めておき、留学先での就職活動による負担を減らすと良い。</p>
⑤ どのような保険に加入しましたか。() に○をつけてください。
<p>a. 留学先大学が指定した保険 ()</p> <p>b. 個人の保険のみ ()</p> <p>c. 大学指定の保険と個人保険の両方 (○)</p>
⑥ 予防接種は必要でしたか。() に○をつけてください。
<p>a. はい (○) 具体的に：私が渡航した際には接種証明書が必要だった。</p> <p>b. いいえ ()</p>

⑦ 留学先への入国手続きについて、どのように準備しましたか。

(査証申請手続きや新型コロナウイルスにかかる水際対策対応の手続き等)

アメリカへの入国のため、東京都にあるアメリカ大使館でビザの申請を行なった。パスポートや写真、Web で申請した書類などの準備物が必要で、その準備にも時間がかかるので留学が決まった時点で必要物や申請手順などを調べ始めた。基本的にネットでの手順に従えば問題なくできる。

2. 留学先での勉強について

① 留学先で履修した科目名、時間数、授業内容についてなるべく詳しく教えてください。

Fall Semester

Introduction to Programming

プログラミング言語の Java の基礎を学ぶ授業。50 分の講義を週に 4 回。うち一回は実際にプログラムを書き提出する課題が科される。渡航前に Math のテストがあり、一定の点数を超えることで履修可能。テストの内容は中学・高校数学レベルだが、基礎的な問題が多いので難易度は低め。提出物とテストによって評価される。

Reading Academic Texts

第二言語としての英語の授業。50 分の講義を週に 3 回。長文読解や単語の習得を主に行なう。長文に関連するディスカッションやエッセイを書く。提出物とテストによって評価される。

Writing for Academic Purposes

第二言語としての英語の授業。75 分の講義を週に 2 回。英文法やエッセイの書き方、学術的な文章の書き方を学ぶ講義。毎週ノート 1 ページ分のエッセイを提出する。提出物とテストによって評価される。

Listening to Academic English

第二言語としての英語の授業。50 分の講義を週に 2 回。英語のリスニングを学ぶ講義。リスニングのトピックは主に世界のニュースや時事的なものを扱う。提出物とテストによって評価される。

Speaking for Academic Purposes

第二言語としての英語の授業。50 分の講義を週に 2 回。英語の発音矯正や提示されたトピックに関するプレゼンテーションを行なう。課題が発音を録音したものとなる。提出物とテストによって評価される。

Spring Semester

Object-Oriented Programming

Introduction to Programming の発展内容を扱う。50 分の講義を週に 4 回。うち一回は実際にプログラムを書き提出する課題が科される。Java の抽象クラスやインターフェースを扱う。学期の後半には C++ の基礎を学ぶ。Java でプログラミングの基本を学んだ上で C++ に移るので復習を欠かさないことが重要。提出物とテストによって評価される。

Introduction to Communication

コミュニケーションを学術的に学ぶ授業。50 分の講義を週に 3 回。コミュニケーションに含まれる要素について教科書をもとに学び、それをもとにレポートを書いたりプレゼンテーションを行なったりする。グループで取り組むプレゼンテーションもあり、他学生との協力が必要となる。提出物とテストによって評価される。

Children's Literature

アメリカにおける児童文学の教育的活用について学ぶ。50分の講義を週に3回。英語の児童文学について、子どもの発達、取り巻く環境、社会的視点から考察・評価する。グループで特定分野の児童文学について調べ、プレゼンテーションを行なう。 Semester中に大量の本を読むことになるので、計画的に読み進める必要がある。提出物とプレゼンテーション、グループ活動によって評価される。

Calculus and Analytic Geom I

微分・積分を扱う数学の授業。50分の講義を週に4回。微分の基本的な概念と考え方を学ぶ。毎週の講義とそれに関連する課題が出される。内容としては高校数学レベルなので、理系の人には簡単に思えるレベル。2回大きなテストがあり、提出物とこれら2回のテストによって評価される。評価比率はテストが高い。

② 授業履修の際に、注意したほうがいいことがあれば、なるべく具体的に教えてください。

理系の授業は事前に数学のテストがあるので、中学・高校の内容を見直しておく必要がある。しかし、テストはあくまで基礎的な内容なので発展的なことは問われない。履修についてはアドバイザーと相談して決めることになるが、授業内容についてアドバイザーに確認し、自分が思っていた授業と違う、ということがないようにする。

③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。

授業に関して困ったことがあれば、教授や友人に助けを求めれば喜んで協力してもらえる。しかし、助けを求めなければ手は差し伸べられないので、自分から動いて学びに行く姿勢が大切。私自身、英語に不安があり教授に聞きに行くことが不安だったが、拙い英語でも親身に相談に乗ってもらい、授業の中で出た疑問を解消してもらえた。授業については、日本の大学と同じように授業に出席し、課題を提出すること、分からないことを分からないままにしないことが大切。

[前期] 時間割

	月	火	水	木	金
1	Reading Academic Texts		Reading Academic Texts		Reading Academic Texts
2	Introduction to Programming	Introduction to Programming	Introduction to Programming		Introduction to Programming
3					
4		Writing for Academic Purposes		Writing for Academic Purposes	
5	Speaking for Academic Purposes	Listening to Academic English	Speaking for Academic Purposes	Listening to Academic English	
6					

[後期] 時間割

	月	火	水	木	金
1				Object-Oriented Programming	

2	Object-Oriented Programming		Object-Oriented Programming		Object-Oriented Programming
3					
4	Calculus and Analytic Geom I	Calculus and Analytic Geom I	Calculus and Analytic Geom I		Calculus and Analytic Geom I
5	Introduction to Communication		Introduction to Communication		Introduction to Communication
6	Children's Literature		Children's Literature		Children's Literature

3. 留学先での生活について

① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか
大学がある町は田舎なので、交通などは不便だが穏やかな町だった。留学期間中半分は雪が降るため、防寒は必須だった。そのためか、町の人も親切な人が多い印象である。キャンパス内は綺麗で、勉強や学生同士の交流に集中できる設備が整っていた。
② 留学中はどこに住んでいましたか。
a. 寮 (<input type="radio"/>) : 何人部屋でしたか (2 人) b. アパート (<input type="checkbox"/>) : 何人部屋でしたか (人) c. ホームステイ (<input type="checkbox"/>) : 何人部屋でしたか (人) d. その他 (<input type="checkbox"/>) 具体的に :
③ 住むところはいつ頃、どのように申し込みましたか？また、どのような選択肢がありましたか？
渡航の 2 ヶ月前にオンラインで申し込んだ。2 人部屋か 1 人部屋かの選択肢があり、2 人部屋は 1 人と比べて費用が安く済む。
④ 住環境（建物の場所、お部屋の間取りや設備、ルームメイト等）はどうでしたか。
寮は大学構内にあり、講義棟からも近いため通学に便利である。近くにコンビニやスーパーもあるため、生活には困らない。しかし、バスが一時間に一本のペースでしか来ないので遠出をするのは難しい。
⑤ 食事はどうしましたか。
a. 大学・寮のミールプラン (<input type="radio"/>) b. 主に外食 (<input type="checkbox"/>) c. 自炊と外食が半々程度 (<input type="checkbox"/>) d. その他 (<input type="checkbox"/>) 具体的に :
(補足説明) ミールプランは最初のセメスターは必ず申請する必要があるが、2 期目でかつ 21 歳以上ならば必ずしも申請する必要はなく、自炊することもできる。自炊の場合は共用のキッチンを使うことになるが、一つしかないので時間帯や他学生と調整

<p>する必要がる。</p>
<p>⑥ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか。</p> <p>クラブへ所属、留学生向けのイベント、授業でのグループワークなど、さまざまな機会を利用して交流を深めた。いずれの場合でも自分から行動し、積極的に交流を持つとすることが大切。</p>
<p>⑦ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか。</p> <p>大学以外の地域に旅行に行ったり、勉強したりした。</p>
<p>⑧ 健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗いうがいをする。 ・食事はバランスよく。 ・適度に運動する。 ・夜中は出歩かない、複数人で行動する。
<p>⑨ 文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。</p> <p>Superior は雪が多く降るので雪、寒さ対策は徹底していた。現地で調達する衣服もあった。 良くも悪くも時間にルーズ。 宗教の話は学内でする機会がなかった。</p>

4. 留学費用について(差支えない範囲でお答えください)

※各費用の下の空欄には補足事項をご記入ください。どんな些細な情報でも大歓迎です。

留学前

査証申請費	50000 円
手続きが複雑で時間がかかる	
渡航費(往路航空運賃)	300000 円
何回か乗り換えがある	
海外旅行保険代（出発前に日本で加入したもの）	80000 円
コロナ水際対策費用（陰性証明書、隔離費用、移動費等）	0?円
出入国の際には特に何もなかった。ワクチン接種の証明書だけ求められた	

留学中

授業料（有料コースを受講の場合）	0 円
協定校のため授業料は徴収されない	

授業料以外の学費（教材費や登録料）	10000 円
レンタルや中古を買うことができる	
現地で加入した保険料	なし
住居費（寮費）	1200000(10ヶ月)円
寮のため光熱費はかからない	
住居費（寮費以外の費用、光熱水料やインターネット）	0 円
食費（自炊・外食の有無）	300000(学食)円
基本的に学内の食堂で食べる(ミールプラン)	
通信費（SIM カードや現地でスマホ購入等）	20000(スマホ代) / 3000(月々のSIM)円
日本の契約内容によってはそのまま使えることもあるが、基本的には渡航先で購入	
交通費（通学に必要なバスや休日市内での公共交通機関）	0 円
派遣先大学の学生は市内のバス代タダ	
娯楽費（国内旅行に行ったり）	300000(国内旅行 3 回)円
基本的にクレジットカードで手続きをすることになる	
その他生活費	月 5000 円
渡航費(袋航空運賃)	円
留学先でのお金の管理方法（クレジットカード、デビットカード、現地での口座開設等）	
クレジットカード、ごくたまに事前に準備していた現金	

留学経費の負担について

留学のための奨学金等や助成金を利用した場合は以下もご記入ください	
奨学金名	
応募方法	

5. 今後の進路等について

① 卒業時期について教えてください。（わかる範囲で結構です）○をつけてください。
a. () 4年で卒業予定
b. (○) 卒業は延期する予定（延長予定期間： 一年)
② 就職・進学のための活動について教えてください。（留学中にしたこと、留学後の予定など）
留学中は調べていた業界の説明会や面接、適正試験の対策を行なった。適正試験対策はアプリでできるものはお金をかけずにできた。留学後は内定をいただいた企業に就職予定。

6. 留学について

① 留学を終えての感想を教えてください。

日本とは異なる文化・言語の中で自分が学びたいことを学ぶことができたので、英語はもちろん、文化や新しい学問を学ぶことができたのは有意義な経験だった。就職後も海外で働く機会があるので、この経験を活かして働きたい。

② 留学して、何が変わったと思いますか。

自分の中では、物事への挑戦のハードルが下がったように感じている。留学先では自分で諸々の手続きを行ったので、大概のことへの挑戦には躊躇しなくなったのではないかと思う。日本とは異なる地で生活することで、治安や人の優しさなど、日本の良さを再確認できた。また、学部では取れなかった授業を履修できたので、就職後に役立つ知識を得られた。

③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。

日本と異なる文化や人々の中に身を投じることで、語学だけではなく新しい刺激を得られるので、留学を考えている人はぜひ一歩踏み出して挑戦してほしいです。